http://decfamily.p1.bindsite.jp/2013NEW/

We 25R

No.237　03/07/10

授業の「時間」を大切にする

面談をしていて今回の中間考査の結果についてコメントを求めると、「初めての科目にどのくらい時間がかかるのか分からず、勉強の準備がうまくいかなかった」という人が結構いる。地歴２科目、理科２科目ともが新しい科目だから分からないでもないが、授業のペースやプリントの枚数、また、試験範囲の問題集の量（ページ数）などを目安にすれば、もう少し計画的にやるべきだったのではないかと思う。もちろん本人たちもそのことは自覚しているわけだから、次回の考査にはこの経験を生かしてくれることだろう。

また、「この科目に関しては力を入れて勉強したのでよい結果が出た」というコメントを述べる人も結構いる。２年生になり、新しい気持ちでがんばったのだろう。それが成果となってあらわれてよかったと思う。その中には、試験準備に時間をかけたという人もいるし、日常の授業を一年生の時よりもちゃんと聞くようにしたという人もいる。共通していえることは、「ちゃんとやれば結果はそれなりについてくる」ということである。以前にも書いたが、高校で勉強している内容は、何も専門的で特殊なことではない。きちんと授業を聞いて、ちょっとでも分からないことがあったら質問して疑問点を消していけば、誰でもが分かることを扱っているのである。だから、君たちが「力を入れて」という気持ちになれば、その力の入れ方に従ってしっかりと結果がついてくるのである。

一方、当然のことながら「あまり勉強しませんでした」という人もいる。勉強しなければイイ結果がついてこないのは当たり前である。大切なのは、「あまり勉強しませんでした」などと自己分析することではなく、ズバリ勉強することだと気づくことである。そして、気づいているなら実行あるのみということである。分かっているのに実行できないという人は、ほぼ確実にそのまま卒業を迎えることになる。部活を引退したら…と思っている人がいるかも知れないが、勉強する人は部活をやりながらでも勉強しているということを忘れてはいけない。引退したら…と思っている人は、結局は最後まで日比谷レベルの勉強はしないのであり、その結果、日比谷レベルの結果は得られないで終わるのである。厳しいようだが、同じ授業を受けているのに、目標校に合格する人もいれば、合格できない人もいるという事実に目を向けなければならない。予備校の人気講師だって、全員を合格させられるわけではない。同じ先生の同じ授業を受けていても、合格する人としない人が出る。つまり、教えている側の問題ではなく、君たち自身の問題なのである。

＊

やれなければならないことはたくさんあるのに時間は足りない。だから、計画的にこなすことが必要だし、ちょっとした時間を上手に使うことも重要だ。しかし、それ以上に、「授業の時間」を大切にするということが全ての根本であることに気づいてほしい。寝たり、集中できずにいたりして授業の時間を生かし切れていなければ、結果は決してついてこないだろう。まずはここから見直そう。